

## 支出項目

## 政務活動費

## 調査研究費

No.1

R1 月	年 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
10	7~9	宮崎市、鹿児島市、南九州市	199,497	199,497
10	10	藤沢市	400	199,897
		合計	199,897	199,897

# 政務活動報告書

令和2年3月25日

茅ヶ崎市議会

議長 水島 誠司 様

(会派名) 湘風会

(氏名) 柁木 太郎

岩田 はるみ

広瀬 忠夫

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和元年10月7日(月)、8日(火)、9日(水)
目的 地 (研 修 地)	宮崎市役所 宮崎県宮崎市橘通西1丁目1番1号 鹿児島市役所 鹿児島県鹿児島市山下町11-1 南九州市役所 鹿児島県南九州市知覧町郡6204番地

政務活動の結果 (別紙のとおり)



## 出張旅費計算書

摘要	宮崎県宮崎市 鹿児島県鹿児島市 鹿児島県南九州市 (政務活動費)		会派	湘風会		
期日	令和元年10月7日から 令和元年10月9日まで 3日間		氏名	榎木太郎 岩田はるみ 広瀬忠夫		
経路	日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎—横浜 (JR東海道本線)	1	1	50.5	880 ✓	—	880
横浜—羽田空港 (京急)						
羽田空港—宮崎空港 (空路)			パック旅行 (往復の飛行機代+ホテル代)			44,300 ✓
宮崎空港—橘通1丁目 (リムジンバス)	1	1	3.5	390	—	390 ✓
橘通3丁目—宮崎 (宮崎交通バス)			1.6	170	—	170 ✓
宮崎—鹿児島駅前 (鹿児島市電)			123.3	2,700 ✓	1,780 ✓	4,480 ✓
鹿児島駅前—市役所前 (鹿児島市電)						
市役所前—鹿児島中央駅前 (鹿児島市電)	2.1	170	—	170		
鹿児島中央駅前—南九州市役所 (鹿児島交通)	1		レンタカー (湘風会と伊藤素明議員と同乗のため、費用を4人で分けています。(レンタカー代14,960円、ガソリン代1,057円、高速代100円、合計16,117円(一人4,029円))		×1人分	4,029 ✓
南九州市役所—鹿児島空港 (鹿児島交通)			パック旅行(10月7日分に計上)			
鹿児島空港—羽田空港 (空路)			50.5	880 ✓	—	880
羽田空港—横浜 (京急)						
横浜—茅ヶ崎 (JR東海道本線)						
計	3	2	231.5	5,190	0	(A) 55,299 ✓
日当	3 日 × @ 2,400			(B)	7,200 ✓	
宿泊料	2 日 × @ 1泊朝食付 パック旅行(10月7日分に計上)			(C)	—	
夕食代	2 日 × @ 2,000			(E)	4,000 ✓	
合計	(A)+(B)+(C) +(D)+(E) 66,499 ✓		× 3 人	(J)	199,497	

※南九州市には市電がないため、レンタカーを使用  
 ※レンタカー代には、別途ガソリン代、高速代金も含まれます。

令和元年 10 月 7 日

宮崎市行政視察報告 湘風会 岩田はるみ

視察項目 「地域魅力発信プラン」について

宮崎市は平成 18 年の合併を機に、地域の特性を生かし、課題を分析し、地域の魅力発信、地域コミュニティの活性化に向けた取り組みが始まり、「地域魅力発信プラン」が策定された。

宮崎市の総人口は、2013 年をピークに減少し、2016 年には 40 万人を割り込み、人口減少のスピードも加速している。

人口減少に伴い、地域経済の縮小、市税収入は減少し、行政サービスも縮小となる。また、高齢者の増加により、社会保障費の増加。公共施設の老朽化により維持、更新費が増大するという分析背景のもと、地域のまちづくりに専門家などの多様な人材が参画するビジネスとしての仕組みづくりが求められ、取り組むとしている。

宮崎市には地域自治区が 22 あり、地域コミュニティの活性化と協働のまちづくりに向けた取り組みを進めている。

宮崎市の素晴らしいのは、「地域協議会」という市長が委嘱する住民を代表する組織で、行政の付属機関を作り、機能を高めている所で

ある。

それに、「地域自治区事務所」「地域まちづくり推進協議会」が3つの柱となっている。

地域発信プランは、自分の住む地域の将来像を明確にし、将来像に近づくための取り組みを検討し、そのプランに沿って地域内の各種団体が役割分担と連携を行いながら、地域資源を生かし課題の解決に取り組むとしている。

「地域まちづくり推進委員会」が中心となり、プランに沿って「地域コミュニティ活動交付金」を活用しながら、まちづくりを実践する活動をしている。

地域力に力点を置き、5年後、10年後の将来像を描き、それぞれの地域の特性を生かし、住民全体のまちづくりを促進することにより、自分の住む地域に誇りと愛着を持ち、地域の将来像が共有できる。

地域力の向上で、魅力ある地域を形成し、発展させていく取り組みをしている宮崎市を大いに評価するものである。

大変参考になった充実した行政視察であった。

## 10月8日鹿児島市会派視察報告書

湘  
舞風会・柁木太郎

観光政策・観光未来戦略について

鹿児島市概要

### 概要[編集]

---

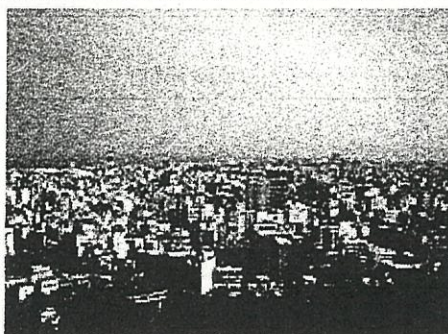
鹿児島県中西部に位置する宮崎県・鹿児島県を範囲とする南九州地域の拠点都市で、政治・経済・文化・交通の中心地<sup>[5][6][7][8]</sup>。古くから薩摩藩、90万石の城下町として栄えてきた。1889年4月1日に日本で最初に市制を施行した31市の一つで、現在は福岡市、北九州市、熊本市に次ぐ九州第4位の人口を擁する<sup>[9]</sup>。2020年3月現在、中核市では船橋市(千葉県)、川口市(埼玉県)に次いで第3位である。又、国際会議観光都市にも指定されている。

1996年に第一期の中核市に指定された<sup>[10]</sup>。本市は、県人口の約三分の一(約35%)が集中している首位都市でもあり、周辺の自治体と鹿児島都市圏を構成する。九州新幹線の完全開業により更なる発展が期待されるが、元々鹿児島市は地理的要因により地域ブロックの拠点として発

展してきた側面もあり、福岡都市圏と短時間で結ばれるようになることで、ストロー効果などのマイナス面も懸念されている。

## 市勢[編集]

---

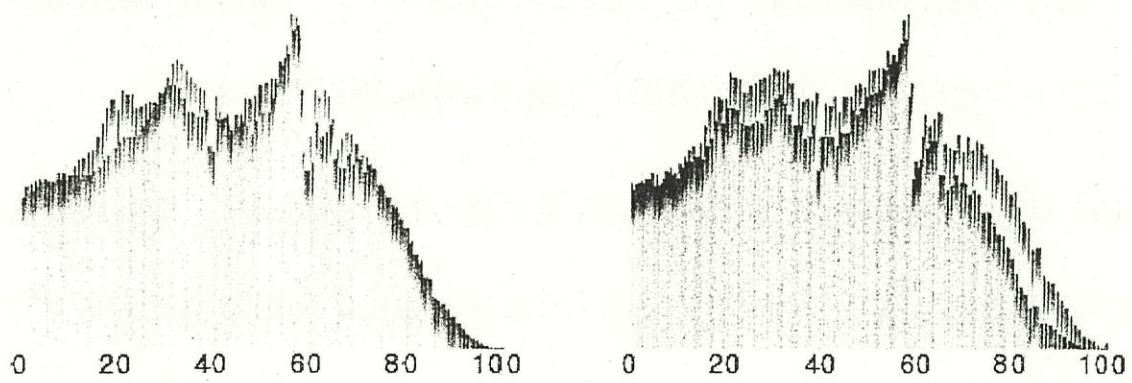


城山から望む市街地

- 人口:604,814 人
  - 自然動態率+1.3% 社会動態率-0.5% 出生率 1.35(2007 年)
- 世帯:262,897 世帯
- 登録外国人数:2,027 人
- 面積:547.06km<sup>2</sup>
  - DID面積:74.82km<sup>2</sup>
  - 可住地面積:248.84km<sup>2</sup>
  - 本土側可住地面積:214.64km<sup>2</sup>
- 人口密度:1106 人/km<sup>2</sup>
  - DID 面積内人口密度:6542 人/km<sup>2</sup>

。可住地面積人口密度:2432 人/km<sup>2</sup>

### 人口[編集]

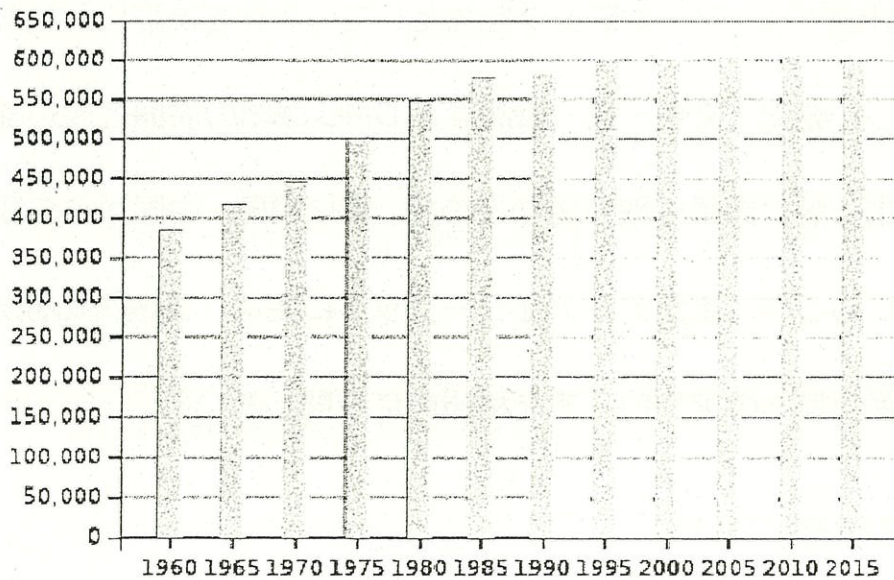


鹿児島市と全国の年齢別人口分布(2005年)

鹿児島市の年齢・男女別人口分布(2005年)

■紫色 — 鹿児島市  
■緑色 — 日本全国

■青色 — 男性  
■赤色 — 女性







鹿児島市(に相当する地域)の人口の推移

総務省統計局 国勢調査

## 1、 戦略と具体的取り組みについて

鹿児島市の観光振興の指針である観光未来戦略では、「鹿児島の経済成長のエンジンとなる稼ぐ観光の実現」を基本目標に掲げています。

「稼ぐ観光」を実現し、本市の経済発展に結び付けるために、事業者の皆様のご活躍はもとより、事業者・市民・行政など観光に関わる全ての方々にビジョンを共有し、戦略に掲げた各種施策を、官民一体となって着実に進めて行くとしています。

第3次実施計画では、マーケティングを強化して、海外を視野に入れたりサーチを徹底し、歴史・文化・食・自然などDMO戦略の展開と周辺都市との連携を強化し魅力発信に取り組むとの事。特に韓国・中国からの観光客は上昇傾向にある中、東南アジアをターゲットに定め、国内外の観光業者・交通関係企業へのアプローチを積極的に展開している。

## 2.市と地域の連携について

受け入れ体制の充実化を推進

1、 おもてなしの基盤づくりとして○魅力を伝える人材育成○女性目線の観光地づくり○郷土の偉人等に学ぶ教育環境の充実推進する。

2、 国際観光都市としての基盤づくり

○鹿児島ならではの魅力ある景観づくり○利便性の高い交通基盤

○わかりやすい観光案内機能の充実○外国人観光客へのきめ細かな受け入れ態勢づくり○中心市街地回遊性の向上

3.安心して観光出来る防災対策・災害対応の強化

桜島噴火に対する備えの強化と風評被害対策

など教育・生涯学習・まちづくり・景観と多岐に亘って行政の各所管と連携しており、施策に反映している。

また、大河ドラマや薩摩藩・幕末の人気など歴史的な背景やいぶすきの砂風呂などの体験型観光なども取り込み、ストーリー性のある過ごし方についても、南九州市など他自治体との連携の強化に努めている。

3.成果と課題、今後の方向性について

観光・人口とも地盤沈下傾向にある宮崎県をしりめに大きく観光収益を上げている。中国・韓国からの受け入れも好調だが、次期のターゲットとな

る台湾・インドネシア・シンガポール・ベトナム等東南アジアマーケットの掘り起こしが課題となっている。体験型観光の充実による付加価値拡大も更なる戦略を模索中との事。

## 令和元年茅ヶ崎市議会湘風会行政視察報告書

・日時 令和元年10月9日10時～12時

・視察地区 南九州市・報告者 広瀬忠夫

### 1、参加者

梶木太郎 岩田はるみ 広瀬忠夫

### 2、視察項目について、「地方創生総合戦略」について

### 3、南九州市の概況

本市は鹿児島県の南西部、薩摩半島の南部に位置し総面積 357k m<sup>2</sup>、人口 36352 人。ここ数年少子高齢化の進展が顕著に表れているようです。名産はお茶、さつまいも、大根などでお茶は全国的に特にブランド茶として有名です。

### 4、創生総合戦略の内容について

目標1、地域の特色を生かす安定した雇用環境の確保

2、地域資源を活用した新しい人の流れの創造

3、支えあいみんなの命つなぐまち

4、安心・安全で住み続けたいまち

以上詳細については創生総合戦略資料を参照してください。

茅ヶ崎市議会 行政視察資料

25000  
年 700人減少している  
2060年

日時：令和元年10月9日（木）10時～  
場所：南九州市役所 委員会室

1 南九州市の概況

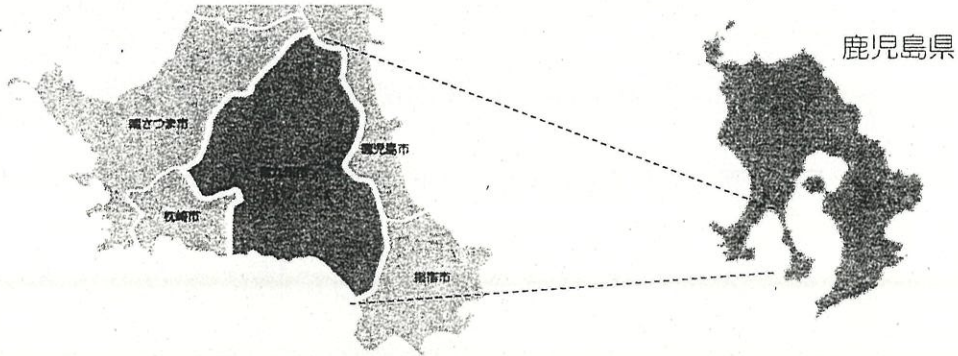
↓15800人になるという予測を、  
70%交付税を支えている

(1) 位置・地勢

本市は、鹿児島県の南西部、薩摩半島の南部に位置し、県都鹿児島市の南西約30kmのところにあります。また、南は広大な東シナ海を臨み、東は指宿市、西は枕崎市・南さつま市に接するなど、南薩地域の地理的中心となっています。

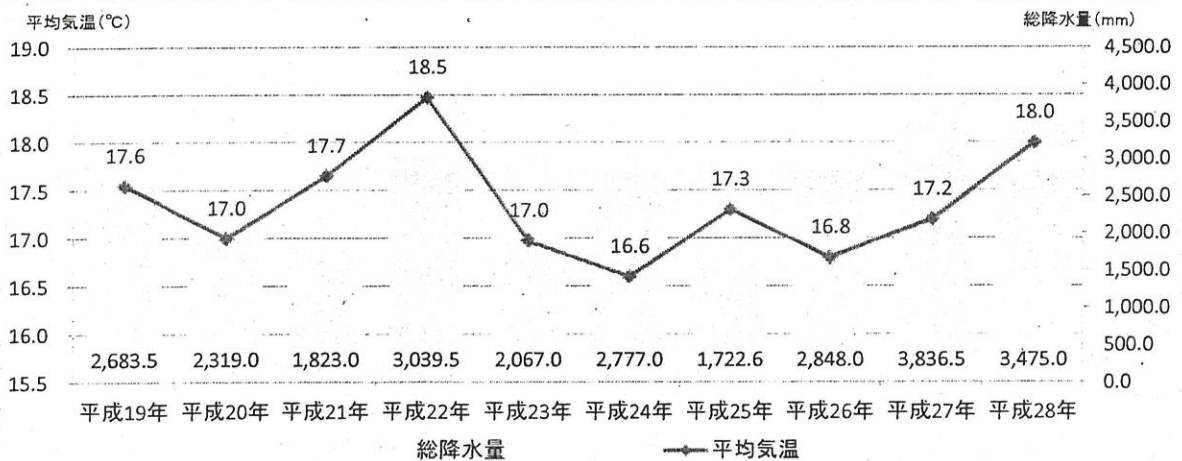
地勢は、北部から南東部にかけて標高500mを越す山々が連なり、中部には緩やかな丘陵台地が広がり、南部は東シナ海に面した海岸線となっています。

市域は、東西に約22km、南北に約30km、総面積は357.91k㎡で県全体の約4.0%を占めています。



(2) 気象

本市の気象は、10年間の平均気温が17.4℃、平均年間降水量が2,659mmとなっています。



### (3) 沿革

えいごう

本市は、平成 19 年 12 月 1 日に穎娃町、知覧町及び川辺町が合併し、誕生しました。穎娃町は、明治時代の穎娃村から昭和 25 年に町制施行した翌年に分村、知覧町は、知覧村から昭和 7 年に町制施行、また川辺町は、川辺村の大正 12 年町制施行後、昭和 31 年に勝目村と合併という歴史があります。

穎娃町は、東西に延びる海岸線は 16km に及び、水平線はるかに屋久島、竹島、硫黄島、黒島などの島影を一望におさめることができます。また、戦後の土地改良事業等の推進により広大な南薩台地のコラ層（火山砂礫層の不良土壌）が排除され、良質な土壌の畑作地帯が出現し、畑かん事業も相まって一大食料生産基地となっています。

知覧町は、北部を厚地川・麓川、中央部を永里川が西流し、それぞれの流域沿いに水田が開けています。南部には南薩台地が広がり、戦後の農業構造改善事業等の推進により茶業と畜産を中心とした農業が行われています。

川辺町は、広瀬川（万之瀬川）が川辺盆地を還流し、神殿川・小野川（麓川）・高田川（永里川）などを合流して南さつま市へ流れ、流域の水田による水稻の栽培や畜産業も盛んです。昭和 50 年には、川辺仏壇が伝統工芸品として伝統的工芸品産業振興法の指定を受けています。

お茶の産地

お茶の産地 稲作の産地

お茶の産地 稲作の産地

### (4) 人口構造

本市の総人口は、平成 27 年国勢調査によると 36,352 人であり、県の総人口の 2.2% を占めています。また、平成 22 年の 39,065 人に比べて 2,713 人 (6.9%) 減少しており、減少率は県全体の 3.4% を上回っています。

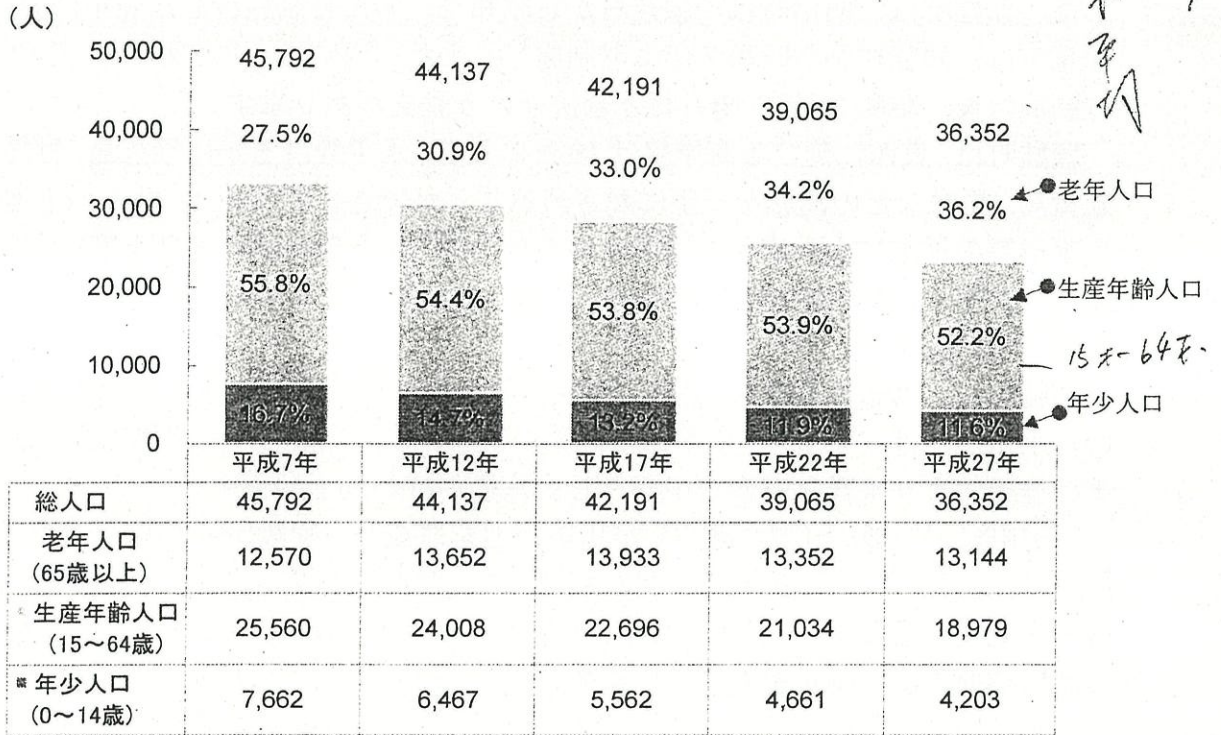
年齢 3 階層別人口の構成比は、年少人口 (0~14 歳) が 11.6% (4,203 人)、生産年齢人口 (15~64 歳) が 52.2% (18,979 人)、老年人口 (65 歳以上) が 36.2% (13,144 人) となっており、県全体の高齢化率 29.4% を大きく上回っています。

また、これまでの推移をみると、年少人口の減少と老年人口の増加により、少子・高齢化の進展が顕著に表れています。

世帯数は 15,349 世帯であり、平成 22 年より 720 世帯 (4.4%) 減少しています。

また、1 世帯当たりの人数は 2.37 人であり、平成 22 年の 2.43 人が微減となっていますが、これは、核家族化により人口が減少しても世帯数は増加する市町村が多い中で、世帯数も減少傾向に転じていることは、人口減少が極めて深刻になりつつある状況を示しています。

■人口及び年齢3階層別人口構成比の推移

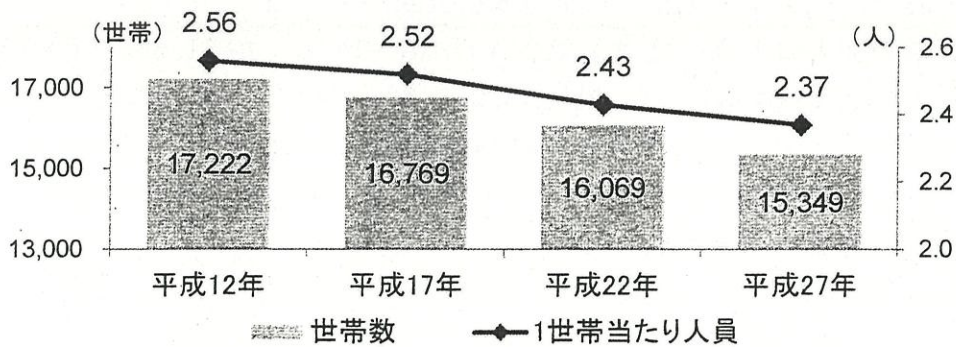


(注) 総数には、年齢不詳分を含む

資料：国勢調査

県令  
果 29.4%

■一般世帯の世帯数及び1世帯当たり人員の推移



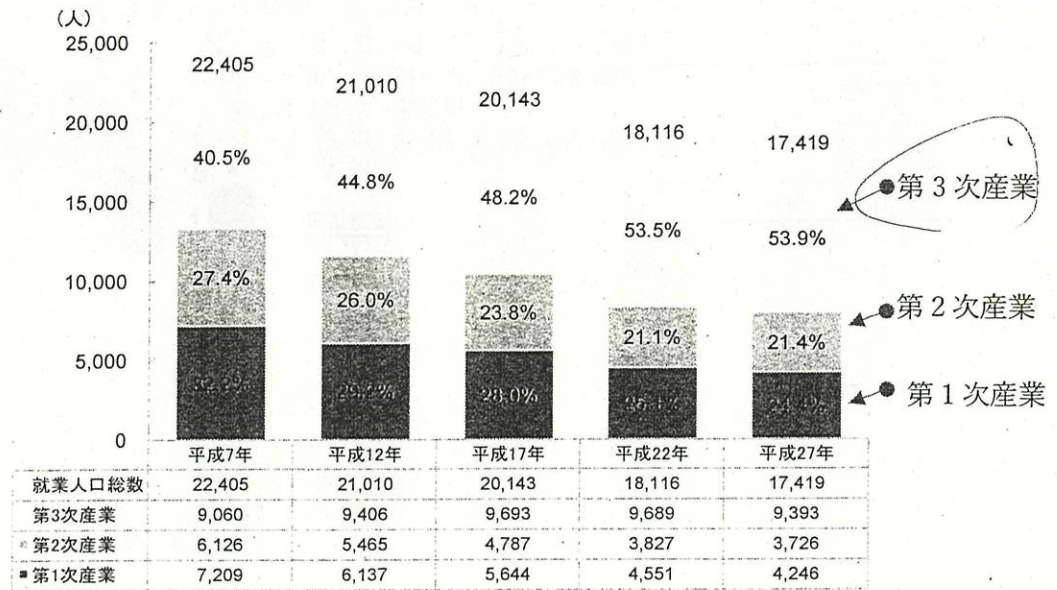
資料：国勢調査

(5) 産業構造

本市の就業人口総数は、平成27年国勢調査によると17,419人であり、平成22年の18,116人と比べて697人(3.8%)減少しており、減少率は県全体の3.0%を上回っています。

産業別就業人口は、第1次産業が4,246人(24.4%)、第2次産業が3,726人(21.4%)、第3次産業が9,393人(53.9%)となっています。また、これまでの人口比の推移をみると、本市の基幹産業である第1次産業が大きく減少し、第3次産業が増加の傾向にあります。

■就業人口総数及び産業別就業人口比の推移



資料：国勢調査



領収証

湘風会

様 No. 2970

金額

¥ 477,200

但 2019.10.7~10.9 宮崎・鹿児島 南九州出張費用として。

2019年 8月 27日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額(%)

税抜金額

消費税額(%)

株式会社 旅コレクション

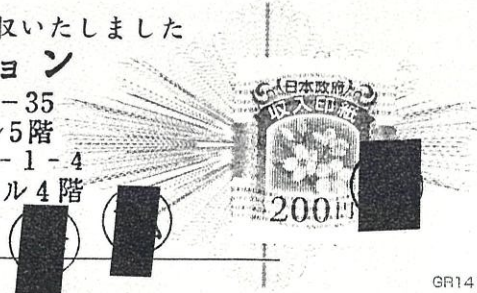
〒231-0015 横浜市中区尾上町3-35

横浜第一有楽ビル5階

〒253-0056 茅ヶ崎市共恵1-1-4

宝家ビル4階

登録番号



GR1419

湘風会 3人

伊藤 議員 1人

計 4人で出張

1人 44300円

(領収書は、伊藤 議員 1名のみで  
合計 44300円)

# 予約案内書兼請求書

2019年08月24日

株式会社旅コレクション

湘南店

〒253-0056

神奈川県茅ヶ崎市共進1-1-4

宝家ビル4階

TEL:0467-85-6923 FAX:0467-83-9294

神奈川県知事登録旅行業第2-1100号

広瀬 忠夫 様

この度は弊社へお申し込み頂き、有難うございます。

下記手配内容、旅行業約款・条件書のご確認をお願い致します。

出発日：2019/10/07 日数：2泊3日 方面：九州地方

お問合せ番号：2286

◆ご旅行参加者

1. ヒロセ タダイ	男性
2. マサキ タロウ	男性
3. イノタ ハルミ	女性
4. イノウ モトアキ	男性

◆フライトスケジュール

利用日	便名	出発地/到着地	出発/到着時間	クラス	予約状況
2019/10/07(月)	NH603	羽田空港/宮崎空港	09:15/11:00	普通席	座席確保
2019/10/09(水)	NH620	鹿児島空港/羽田空港	16:30/18:15	普通席	座席確保

◆請求明細

商品名	販売単価	数	販売金額	備考
ご旅行代金	44,300	4	177,200	

計金額	¥177,200	入金額	¥0	請求金額	¥177,200
-----	----------	-----	----	------	----------

《取消/変更料規定》 取消料発生日：2019年09月14日(土) 14:00～  
 旅行開始日の前日(起算、20日前から8日前まで)-----旅行代金の20%  
 旅行開始日の前日(起算、7日前から2日前まで)-----旅行代金の30%  
 旅行開始日の前日-----旅行代金の40%  
 旅行開始日の当日-----旅行代金の50%  
 旅行開始後の解除、及び無連絡不参加-----旅行代金の100%

◆事前座席指定：ANA603便：26ABCH / ANA628便：27ABCH  
 ◆宿泊：宮崎 ホテルマックス 10/07(月)IN～：鹿児島 ホテルグース 10/08(火)IN～ 1名1室4室・禁煙・朝食付

振込先金融機関名 支店名 口座 口座番号 口座名義人  
 三井住友銀行 支店 普通預金 株式会社旅コレクション

08月30日までにお支払いお願い致します。  
 上記ご確認の上、お振込みをお願い致します【約款・条件書 <http://tabi-colle.jp/registration.html>】  
 ◆振込手数料はお客様にてご負担願います ◆振込明細書(控え)は領収証としてご利用頂けます

# ホリックスレンタカー



ホリックスレンタカー

## 領収証

湘風会様

金額	千円	円
49,600		

但し、レンタカー代として

上記金額正に領収致しました。

内訳 1 現金

2 振込

3 小切手

4 手形

5 クレジット

6 その他

発行部署

ホリックスレンタカー 鹿児島支店

〒890-0053 鹿児島市中野町

TEL 099-256-0082 FAX 099-256-0082

(注) 金額を訂正したものは、無効です。

領収日 2019年10月29日

NO. G 455017

請求書NO. 761910829695

内消費税額

担当

発行印紙

レシタルNO. 761910829695

請求書NO. 761910829695

発行印紙

レシタルNO. 761910829695

請求書NO. 761910829695

発行印紙

レシタルNO. 761910829695

請求書NO. 761910829695

発行印紙

レシタルNO. 761910829695

請求書NO. 761910829695

発行印紙

レシタルNO. 761910829695

請求書NO. 761910829695

発行印紙

レシタルNO. 761910829695

請求書NO. 761910829695

発行印紙

レシタルNO. 761910829695

請求書NO. 761910829695

発行印紙

レシタルNO. 761910829695

請求書NO. 761910829695

発行印紙

レシタルNO. 761910829695

請求書NO. 761910829695

発行印紙

レシタルNO. 761910829695

請求書NO. 761910829695

領収書  
鹿児島県道路公社  
指宿スカイライン  
知覧料金所

車種 一般車 [No. 1-0134]  
 入場 19年10月09日 08時53分  
 精算 19年10月09日 09時21分  
 入口料金所  
 出口料金所  
 車線番号 1  
 収受員番号 0032  
 取扱区分 現金

通行料金 100円  
 現金 100円  
 お預り 100円  
 お釣り 0円  
 No. 000192

毎月 5・15・25日はお得な日  
 表示単価は「税別」です。



領収書

印紙

IDEMITSU

南国殖産株式会社 -217820  
 TEL 0995-58-2435  
 鹿児島空港給油所  
 霧島市溝辺町麓曲道287-1

売上 2019年10月 9日  
 15:10  
 上 様 手  
 現金フリー 00-217820-90001-0001-9

出光ゼアス P-25  
 6.92L @139.0 961円  
 01200.00  
 (内、レンタカー割引 -03.0 -21円)  
 小計 961円  
 消費税(外税)等(10.00%) 96円

合計 1,057円  
 (内、消費税等(10.00%) 96円)

釣銭 1万円: 8,943円  
 5千円: 3,943円  
 2千円: 943円

伝No: 10344 担当:

※消費税については税別表示に  
 なっております。  
 ※本書保管頂く場合は印刷面を内側  
 に折り保管をお願いいたします。

## 出張旅費計算書

摘要	神奈川県藤沢市役所 議会報告会・意見交換会（カフェトークふじさわ）の運営について （政務活動費）		会派	湘風会			
期日	令和元年10月18日		氏名	岩田はるみ			
	経路	日数	泊数	キロ数	運賃（円）	急行料金（円）	金額（円）
	茅ヶ崎—藤沢 （JR東海道線）	1	/	7.5	200	-	200
	藤沢—茅ヶ崎 （JR東海道線）			7.5	200		200
	計	1	-	15.0	400	-	(A) 400
日当	- 日 × @ -					(B)	-
合計	(A)+(B) 400 × 1 人						400

# 政務活動報告書

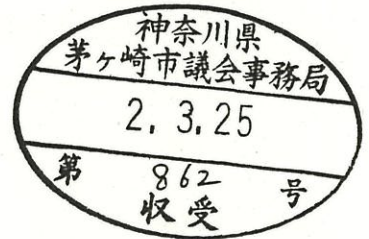
令和2年3月25日

茅ヶ崎市議会  
議長 水島 誠司 様

(会派名) 湘風会  
(氏名) 岩田 はるみ

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和元年10月18日
目的 地 (研 修 地)	神奈川県藤沢市役所 議会報告会・意見交換会 (カフェトークふじさわ) の運営について
政務活動の結果 (別紙のとおり)	



# 藤沢市行政視察（広報広聴委員会）報告

湘風会 岩田 はるみ

日時 10月18日（金）14時から

場所 藤沢市役所

視察内容 ワールドカフェについて

10月18日（金）14時から、藤沢市役所にて、「ワールドカフェ」について、広報広聴委員会として行政視察させていただき、藤沢市議会広報広聴委員長よりお話を伺いたしました。

数年前、茅ヶ崎の議会報告会・意見交換会を参考にと見学にお見えになり、藤沢市も開催をしたのですが、数年して今の茅ヶ崎市と同じ状況になり、もっと前向きなものにしたいとワールドカフェを始めたそうです。

その際、以前にお世話になった■■■■先生（関東学院大学法学部准教授）を頼り、ファシリテーターとしてお迎えし、当日はゼミの大学生が各グループを仕切り、あくまでも議員は、出席者が意見を出しやすい雰囲気づくりに努め、“広聴”に徹するというやり方で成功をしています。



今までは「質問に対してどう答えるか？」ばかりの議会報告会・意見交換会であったが、本来の” 広聴 “ という意味は、あくまでも出席者からいろいろな意見を聞くことだと、委員長が話されたのは、目から鱗でありました。

どこの市も、試行錯誤しながら、開催を有意義なものにしたいと形を変えてきています。

茅ヶ崎市も、若者から高齢者まで異世代が集まり、明るい未来を語れるような議会報告会・意見交換会でありたいと視察を受けながら思った次第です。

大変有意義な視察でした。